

那覇国際高等学校

学校だより 第20号



米国の高校生本校受入



1月30日、外務省主催「カケハシ交流プロジェクト」にて、アメリカのWest High Schoolの高校生9名が本校に来て、本校生徒との交流を深めました。音楽での交流、書道での交流、あるいは調理実習では、沖縄料理やシーサーのキャラ弁等、自分たちで考えたレシピでお弁当を作り、想い出に残る楽しい交流会でお互いの親睦を深めました。

今後の行事予定

2月
19日(木) 1学年進路集会
20日(金) 高校入試面接会場設営
21日(土) PTA美化作業(午前中)
23日(月) 天皇誕生日(公休日)
24日(火) 振替休日(卒業式予行演習)
28日(土) 卒業式予行演習

3月
1日(日) 第26回卒業式
2日(月) 振替休日(卒業式)
3日(火) 高校入試会場設営
4日(水) 高校入試1日目
1・2年生 自宅学習(～10日)
5日(木) 高校入試2日目

名言・名句

I want to form
the strongest lineup
and build this team
with the highest level
of unity.



【解説】
これはバスケットボール男子日本代表の新監督に就任した琉球ゴールデンキングスの桶谷大(おけたにだい)氏が、2月13日に千葉市内の就任記者会見で語った言葉である。

桶谷氏は、京都府出身で、2008-09シーズンに琉球ゴールデンキングスを初優勝に導くと、2011-12シーズンに2度目の優勝を果たしました。2026年より、第36代バスケットボール男子日本代表ヘッドコーチになります。

新人大会 サッカー 男女共 活躍！



県大会3位 女子サッカーチーム



県大会8位 男子サッカーチーム

全沖縄児童生徒 書き初め展

「第64回全沖縄児童生徒書き初め展(2月22日)

最優秀賞 比嘉一朴(3年) 謙山侑奈(1年)

金賞 金城 京(2年) 喜納茉奈美(2年) 平良彩陽(2年)

宮城和心(1年) 大城純鈴(1年) 濱底煌月(1年)

仲本可奈(1年) 宮本実怜(1年)

自然
科学部

九州大会 優良賞

「九州高等学校生徒理科研究発表大会」が2月7日・8日の両日、大分県にて開催されました。県代表として参加した本校の自然科学部の生徒が研究発表部門地学の部とポスター部門、ともに優良賞を受賞しました。おめでとうございます。



合格体験記 19 (琉球大学 国際地域創造学部 国際地域創造学科 学校推薦型選抜)

(1)この大学(学科)を選んだ理由

私は学校推薦型選抜の共学なしで琉球大学の国際地域創造学部に合格しました。私は将来やりたいことが明確に決まっているわけでもなかったので、推薦を受ける際にはその点で非常に苦労しました。また、私は小論文と面接がとても苦手です。そんな私が推薦入試を受けるにあたり、取り組んだことやもっとこうしたほうが良かったなと思うことを書いていこうと思います。私は高校1年生の時から、推薦で大学に進学できたらいいなと、ぼんやり考えていました。はっきりと推薦を受けることに決めたのは高校3年生にあがった時だったと思います。元々親が県外の大学にいくことにあまり肯定的ではなかったこともあり、琉球大学に行くことは自分の中で決めていました。

(2)最も悩んだこと

私は将来、具体的に何になりたいとか何をしたいかとか、あまり決まっていませんでした。そのこともあり、さまざまな分野を横断的に学ぶことができる、国際地域創造学部で学びたいと考えていました。しかし、推薦を受けるには具体的に将来こういったことに携わるためにこの学部に進学して、どういうことを学びたいということを志望理由書や面接の際に大学側に示さなければなりません。それが自分の強みだったり、イメージになります。やりたいことが決まっている人はそれを自分の志望理由の核とし、どんな質問がきても答えられるように広げていってほしいです。私みたいに決まってないが、推薦を出したいという人も、もしかしたらいるかもしれません。国際地域創造学部は経済から言語関係まで幅広く学ぶことができます。この中から、自分の興味のある学問分野を見つけ、探すといいと思います。私は、経営学と沖縄の観光に興味があったので、この2つの分野を活かすことができる職業を調べ、その職業に携わるために大学で学びたいというような志望理由をかきました。志望理由の核となる部分が決まれば、後はそれについて調べまくります。

(3)最後に

推薦対策は共学の勉強と同時並行しないといけないのでそれがすごく重荷になります。私の場合、小論文と面接が苦手だったこともあり、推薦対策に力を入れるため共学の勉強に手がつかない時期や、面接練習で上手く話せなかった時は、なんで苦手なのに推薦受けようって決めたんだろう、一般で受けることにすれば良かったなって思うことが何回もあり、ずっとマイナスな気持ちでした。しかし、推薦を受けるということは、チャンスが2回あるということだと思います。とにかく今の自分にできることを全力でやり、終わったら遅れた分を取り返す気持ちで共学の勉強に励もうと推薦対策に励みました。推薦を受ける人は思うように勉強ができず不安になると思いますが、考え方を変えて物事を捉えてみるのも、受験期に必要な自分の気持ちのコントロール方法の1つだと思います！もう1つアドバイスとして、私の本番での大きな失敗なんですが、小論文は問題をよく読んで、書く際に条件がないかちゃんと確認してください！私はこれを見落としてしまったのですが、後輩の皆さんにはそういうミスがないように気をつけてほしいです。ここまで長い文章を読んでいただきありがとうございました。他の人とは少し違う視点から私が書きたいことを全て書いたつもりです。私のこの経験が少しでも後輩の皆さんのが役に立てれば幸いです。辛いこともたくさんあるとは思いますが、この時期に勉強と正面から向き合うことができれば、それは将来必ず役に立つはずです。私はそれを信じて受験勉強に励んできました。皆さんのお力を心から応援しています！ 本校25期生(令和7年3月卒業)女性